

1 救急業務の出動状況と内容

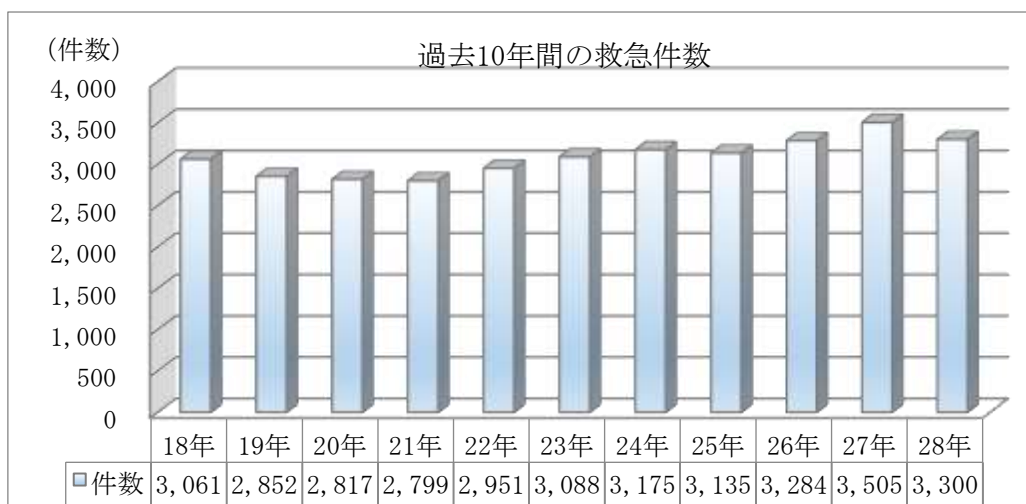
平成28年の出動件数（搬送人員）は、過去最高となった平成27年と比較してそれぞれ200件（人員）余り減少した。これは小雪により冬季における事故の減少が要因となっている。

昨年に引き続き、応急手当普及啓発の強化を図った。救急、救命講習会の開催の充実及び対象者拡大の取り組みを行ったことにより、受講者は昨年よりも増加となった。今後は指導者養成も含め更なる強化を行う。

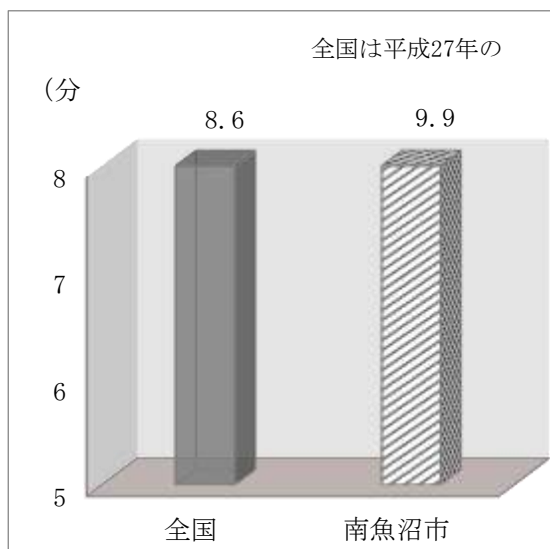
救急車による搬送先医療機関も変貌を遂げた。魚沼圏域医療再編により、長きにわたり懸案事項であった長岡圏域への搬送が大幅に減少となった。

しかし、限られた医療資源の中では解決しなければならない諸問題も少なからず残っており、医療機関との連携強化を今以上に図って行く。

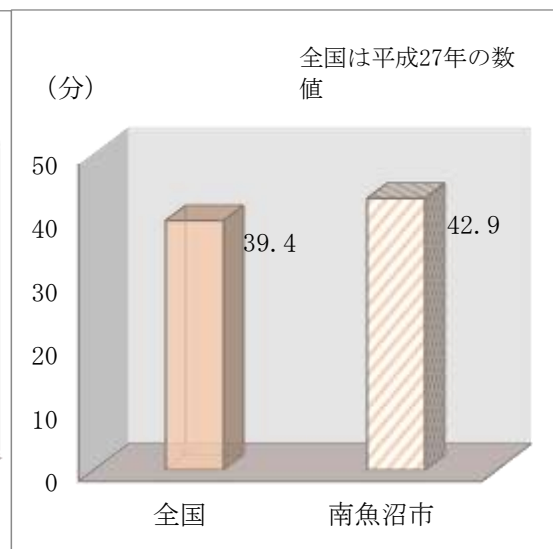
過去10年間の救急件数



現場到着までの平均時間



覚知から病院収容までの平均時間

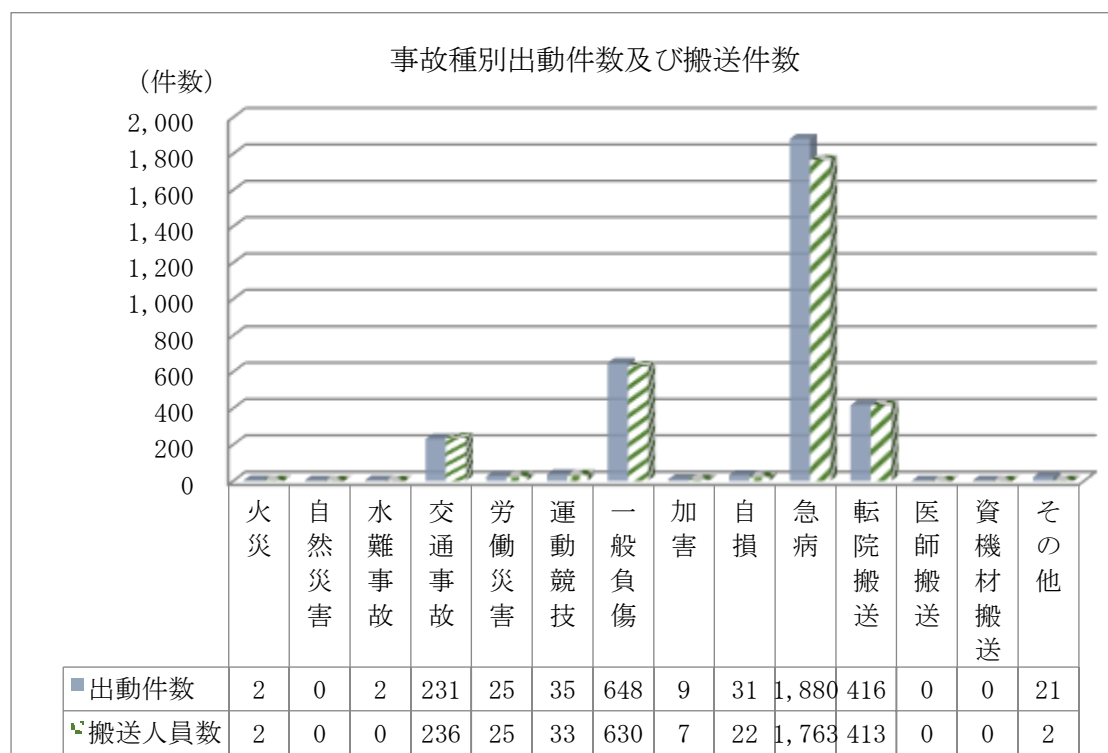


2 署別救急出動状況

(1) 事故種別出動件数及び搬送人員数

(単位：件・人)

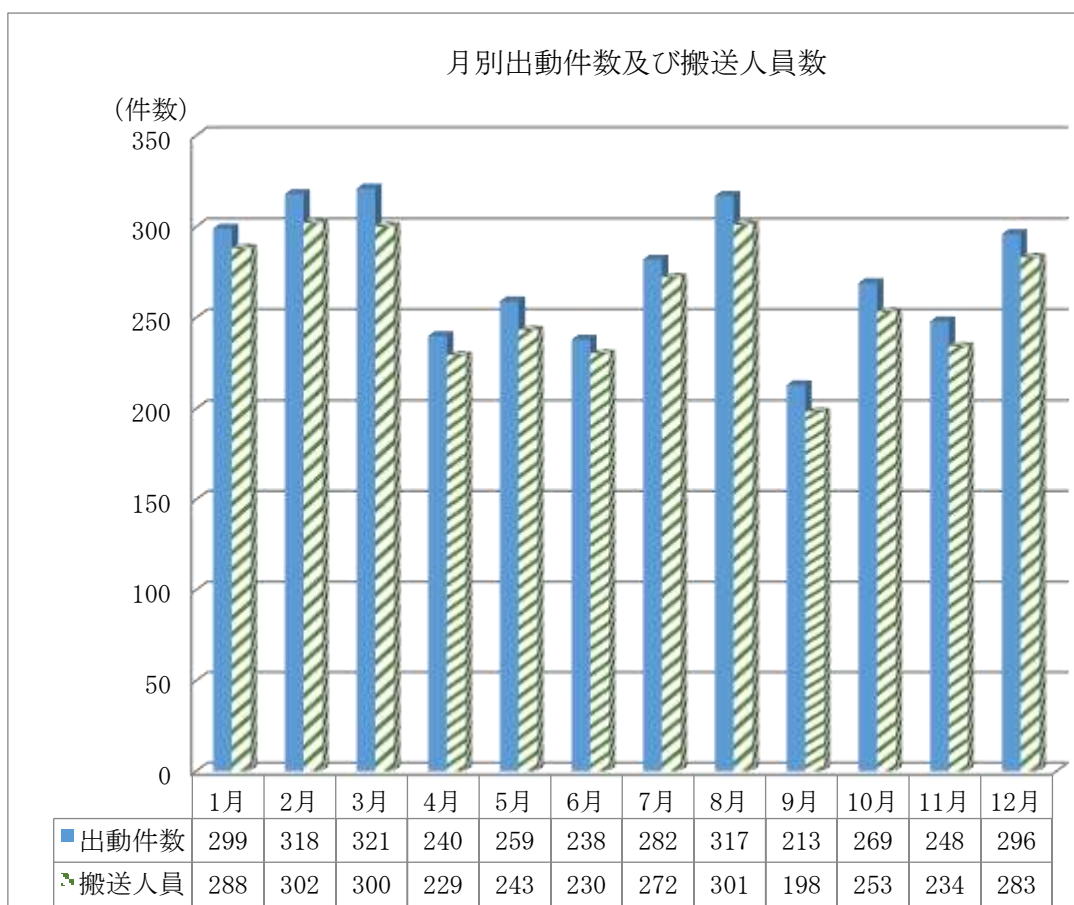
事故種別	南魚沼市消防署		湯沢消防署		大和分署		計	
	出動	搬送	出動	搬送	出動	搬送	出動	搬送
火災	2	2	0	0	0	0	2	2
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0
水難事故	1	0	0	0	1	0	2	0
交通事故	151	157	41	44	39	35	231	236
労働災害	15	15	5	5	5	5	25	25
運動競技	22	20	7	7	6	6	35	33
一般負傷	334	328	243	237	71	65	648	630
加害	3	3	4	2	2	2	9	7
自損	21	15	7	5	3	2	31	22
急病	1,143	1,080	441	412	296	271	1,880	1,763
転院搬送	165	164	120	119	131	130	416	413
医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0
資機材搬送	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	15	2	3	0	3	0	21	2
計	1,872	1,786	871	831	557	513	3,300	3,133



(2) 月別出動件数及び搬送人員数

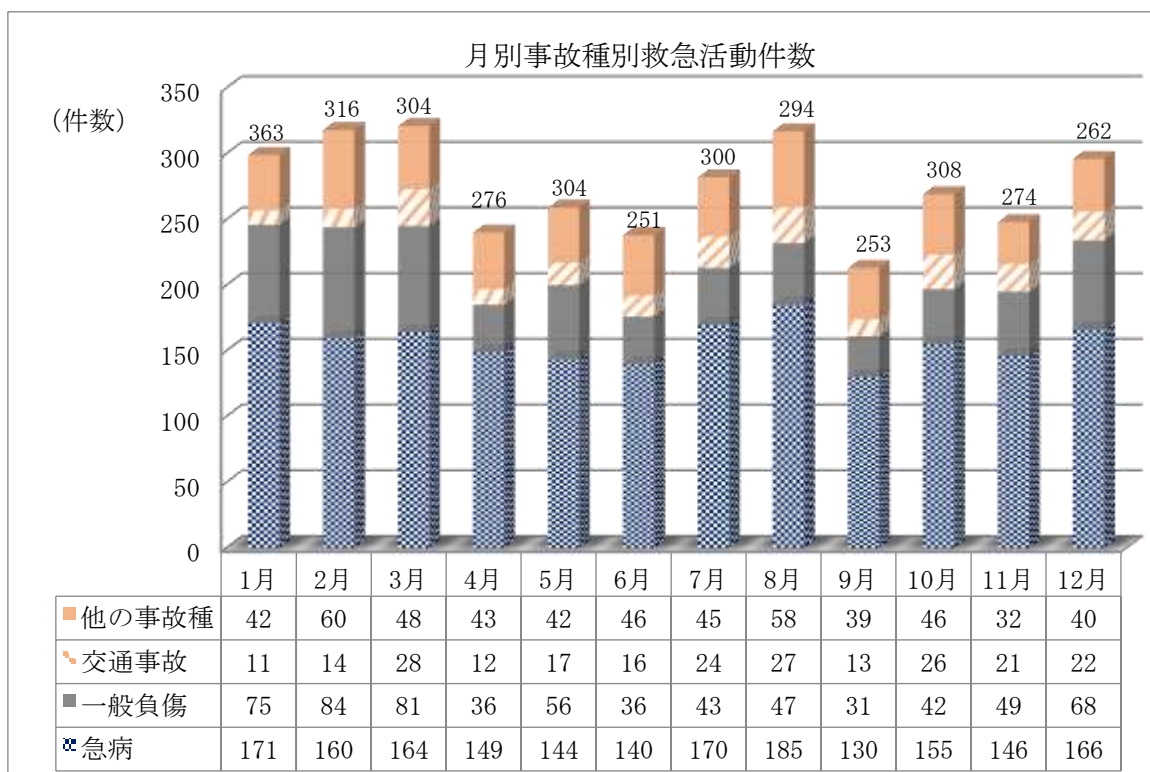
(単位：件・人)

月別	署別	南魚沼市消防署		湯沢消防署		大和分署		計	
		出動	搬送	出動	搬送	出動	搬送	出動	搬送
1月		160	156	95	89	44	43	299	288
2月		166	154	108	105	44	43	318	302
3月		162	151	94	87	65	62	321	300
4月		127	122	70	68	43	39	240	229
5月		153	142	63	60	43	41	259	243
6月		148	144	38	38	52	48	238	230
7月		165	162	64	60	53	50	282	272
8月		172	166	92	87	53	48	317	301
9月		132	123	49	47	32	28	213	198
10月		172	164	48	49	49	40	269	253
11月		152	145	58	53	38	36	248	234
12月		163	157	92	88	41	38	296	283
計		1,872	1,786	871	831	557	516	3,300	3,133



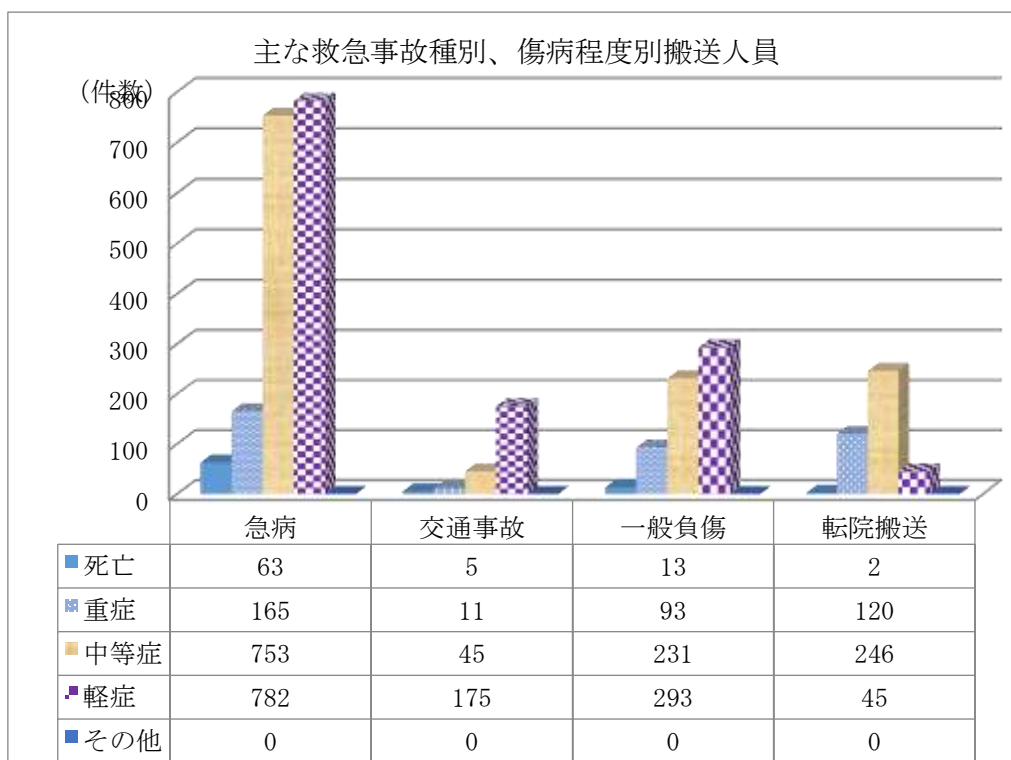
3 月別事故種別救急活動件数

(単位：件)



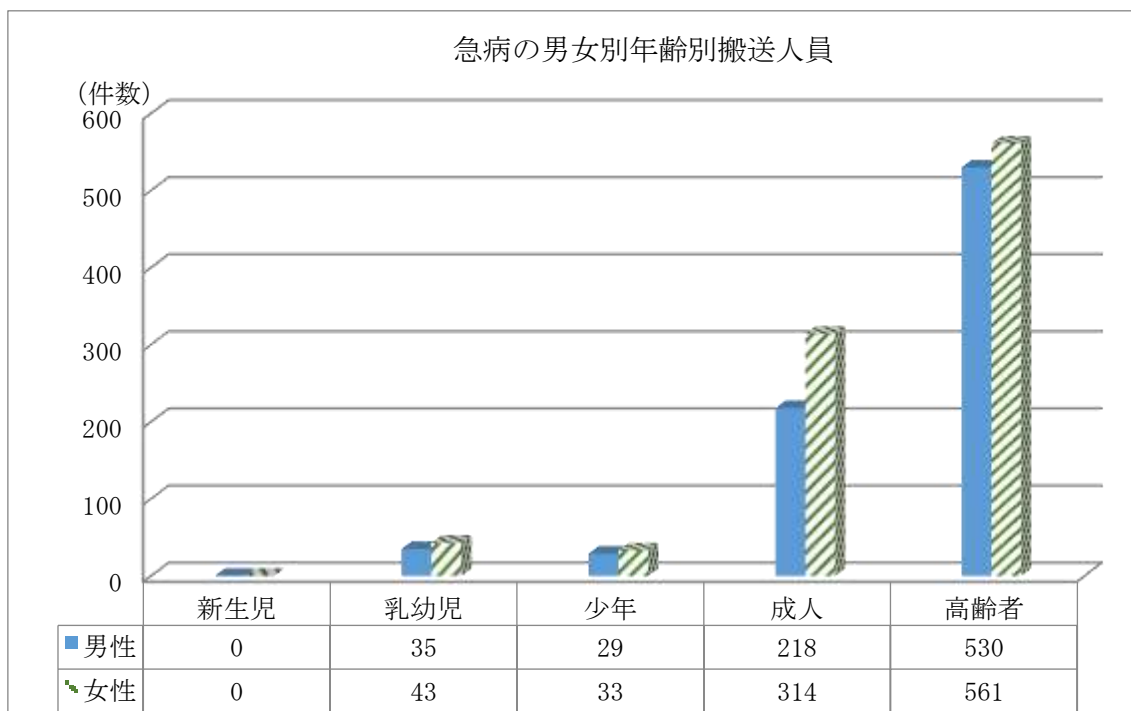
4 主な事故種別、傷病程度別（搬送人員）

(単位：件・人)

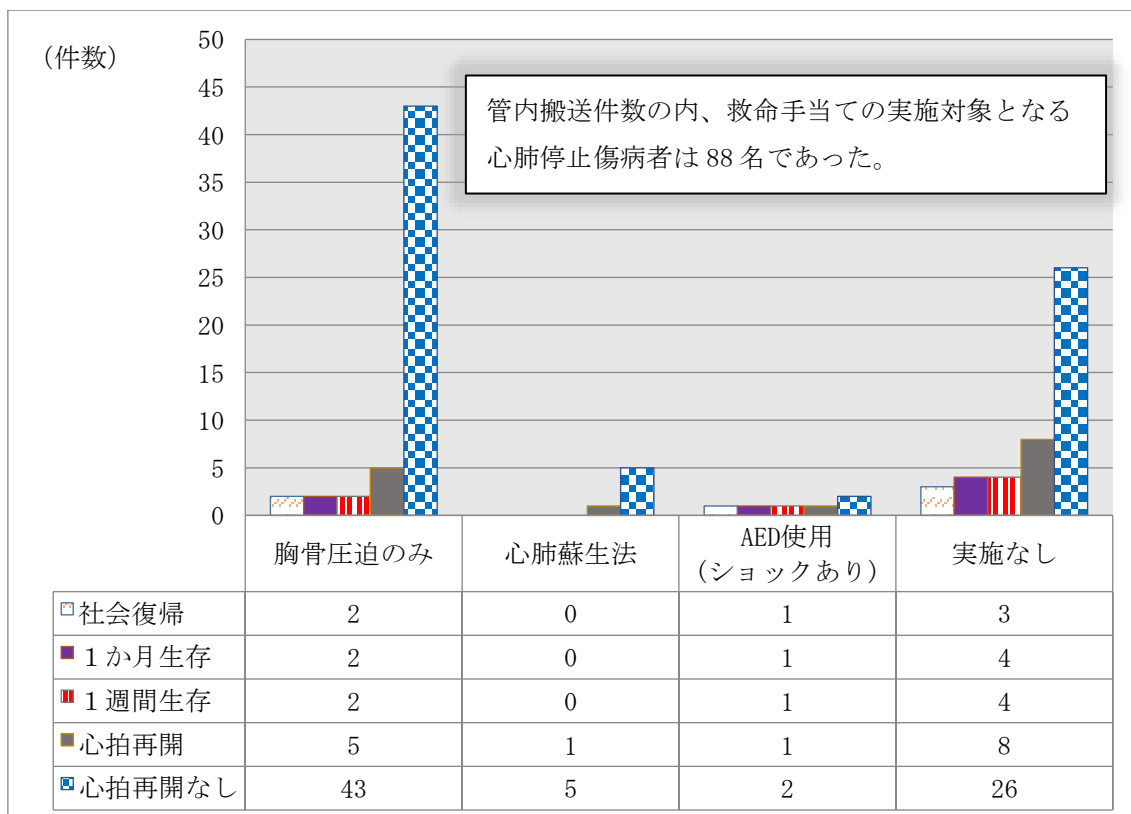


5 急病の男女別年齢別搬送人員

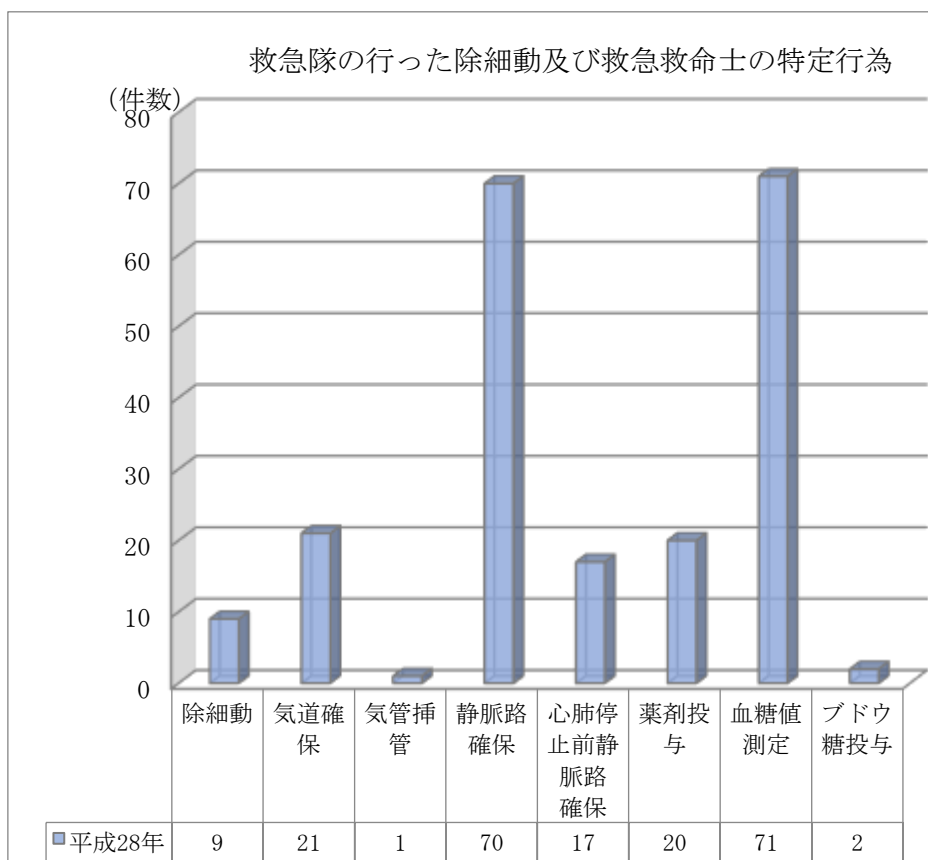
(単位：人)



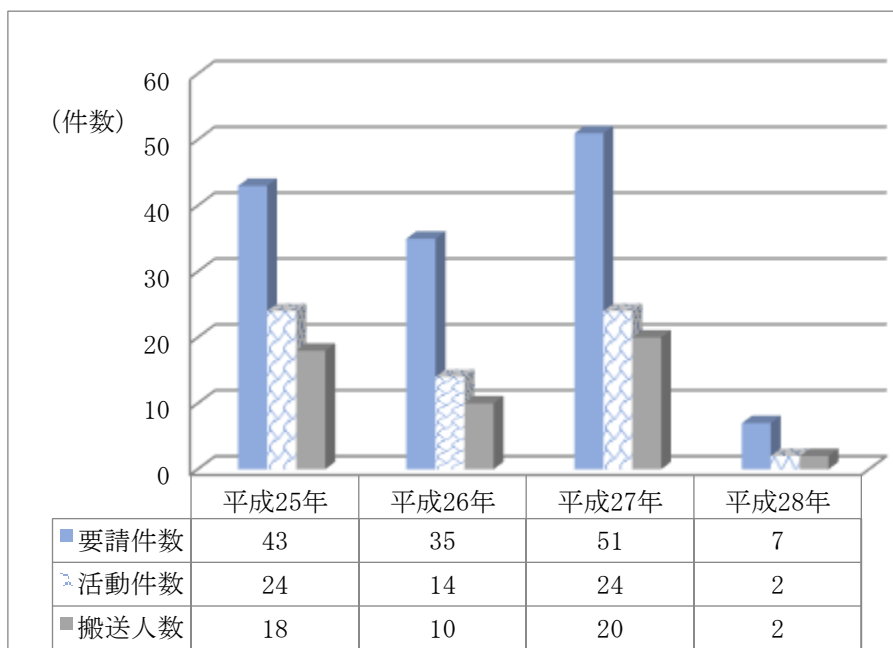
6 市民等が実施した救命手当ての状況



7 救急隊員が実施した除細動及び救急救命士の特定行為 (単位:件)

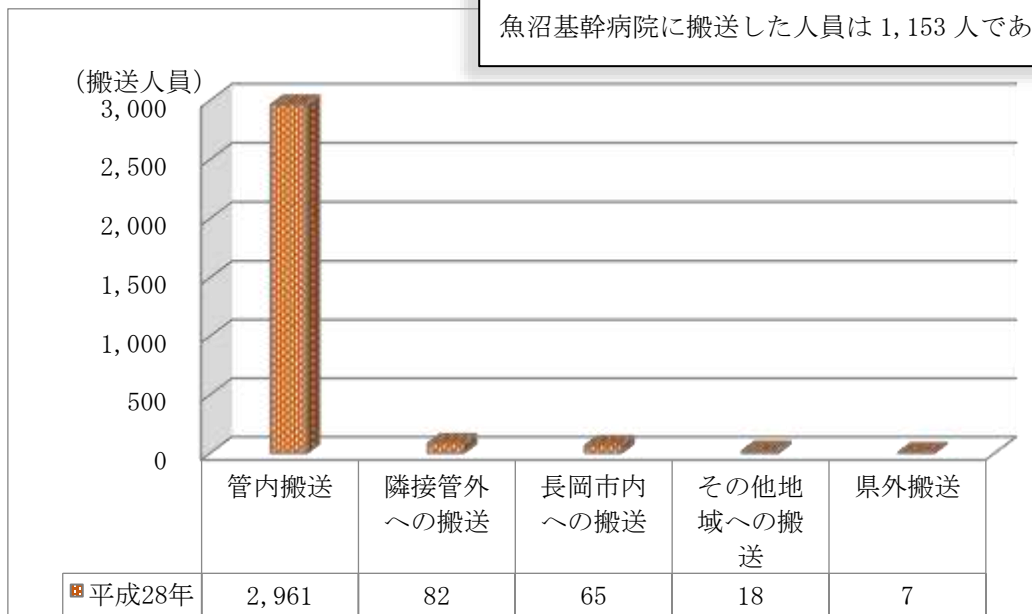


8 ドクターヘリの要請件数、活動件数及び搬送人数 (単位:件・人)



9 地域別搬送先状況

管内搬送件数の内、平成 27 年 6 月 1 日に開院した魚沼基幹病院に搬送した人員は 1,153 人であった。



10 応急手当普及啓発活動状況

(単位:人)

対象		講習区分	一般救急講習		普通救命講習等※		計	
			回数	人員	回数	人員	回数	人員
学校等	学校 P T A	19	946	2	84	21	1,030	
	生徒・学生	9	721	4	163	13	884	
その他	事業所	51	1,129	14	184	56	1,313	
	各種団体	30	747	6	133	36	880	
	住民	7	214	14	113	21	327	
消防団員		0	0	2	50	2	50	
計		116	3,757	42	727	149	4,484	

※普通救命講習等は3時間以上の応急手当講習をいい、「上級救命講習」「応急手当普及講習」を含む。

1 1 救急資機材

(その1)

種 別		合 計	本 署	湯 沢 署	大 和 分 署	備 考
気道管理用	インハレーター	7	3	2	2	
	自動式人工呼吸器	6	3	2	1	クルーズ21、アンサー
	人工呼吸器	18	7	7	4	BVM
	電動吸引器	9	3	4	2	レールダル、パワーミニック
	酸素吸入器	24	10	9	5	携帯用、救急車固定、マルチレーター
	酸素ボンベ	85	36	34	15	100、80、20
	喉頭鏡	12	5	4	3	
	挿管用喉頭鏡	4	1	2	1	エアウェイスコープ
	CO2モニター	3	1	1	1	
	パルスオキシメーター	9	3	3	3	ミノルタ、オニックス、Rad5
循環管理用	血圧計	14	5	5	4	アナロイド、手首用等
	除細動器	13	6	3	3	AEDを含む
	輸液ポンプ	1			1	
	自動心肺蘇生器	7	3	3	1	コムスタッツ、クローバー
	ショックパンツ	1	1			
固定用	陰圧式固定具	7	4	2	1	バキュームスプリント、ネオヴィキャスト
	陰圧式全身固定具	7	4	2	1	
	患者観察装置	6	3	2	1	ベッドサイドモニター
	防刃ベスト	18	6	9	3	
	携帯電話	5	2	2	1	
搬送用	スクープストレッチャー	10	7	2	1	
	バックボード	14	5	6	3	
	スピードボード	3	1	1	1	
	イーバックチェア	2		1	1	
清掃用	滅菌器	3	1	1	1	オートクレーブ、EOGガス滅菌器
	救急車内消毒器	4	2	2		クリーンロード、シャトノクサス、TECO
	ジェット洗浄機	1			1	

(その2)

種 別		合 計	本 署	湯 沢 署	大 和 分 署	備 考
訓 練 用 資 機 材	全 身 モ デ ル	12	6	1	5	レサシアン、ジャミーⅣ
	高 度 救 急 処 置 訓 練 人 形	6	3	1	2	ハートシム、セーブマン、 ALSシミュレーター
	上 半 身 モ デ ル	47	20	12	15	リトルアン、エリック、 JAMY-P
	小 児 上 半 身 モ デ ル	19	11	4	4	リトルジュニア
	気 道 管 理 モ デ ル	2	1	1		
	小 児 ・ 乳 幼 児 モ デ ル	18	10	7	1	小児用、乳幼児用
	静 脈 路 確 保 モ デ ル	3	2	1		
	模 擬 外 傷 作 成 キ ッ ト	3	1	1	1	
	A E D ト レ ー ナ ー	28	11	11	6	日本光電、レールダル、 メドトロニック
	プ ロ ジ ェ ク タ ー	3	1	1	1	
ス ク リ ー ン	3	1	1	1		

(その3)

種 別		消 防 本 部 備 蓄 数	備 考
新 型 イ ン フ ル エ ン ザ 等 対 応	感 染 防 止 衣	3,800着	上衣、下衣同数
	N 95 マ ス ク	3,800枚	
	サ ー ジ カ ル マ ス ク	12,000枚	
	感 染 防 止 手 袋	15,000枚	
	ゴ ー グ ル	60個	
	感 染 防 止 用 帽 子	150個	
	ロ ー ル シ ー ツ	10本	ストレッチャーシート被覆用
	ア イ ソ レ ー タ ー	1台	南魚沼保健所から委託を受け保管